

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

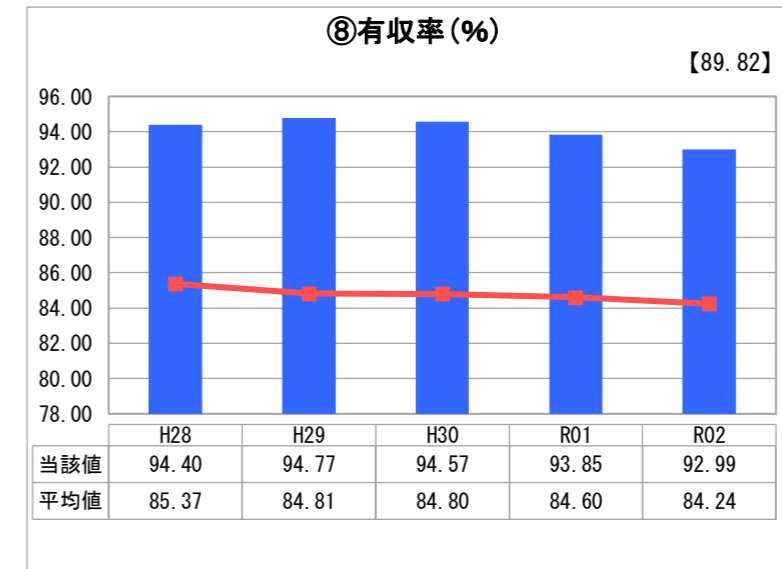
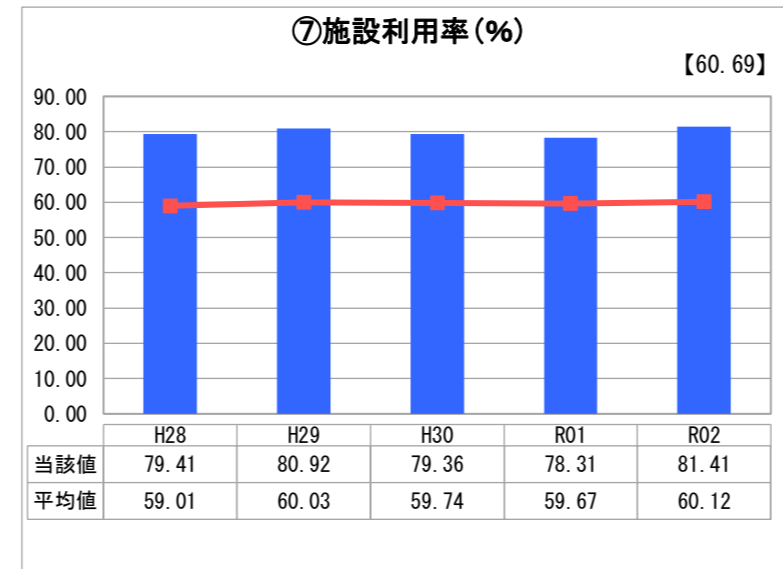
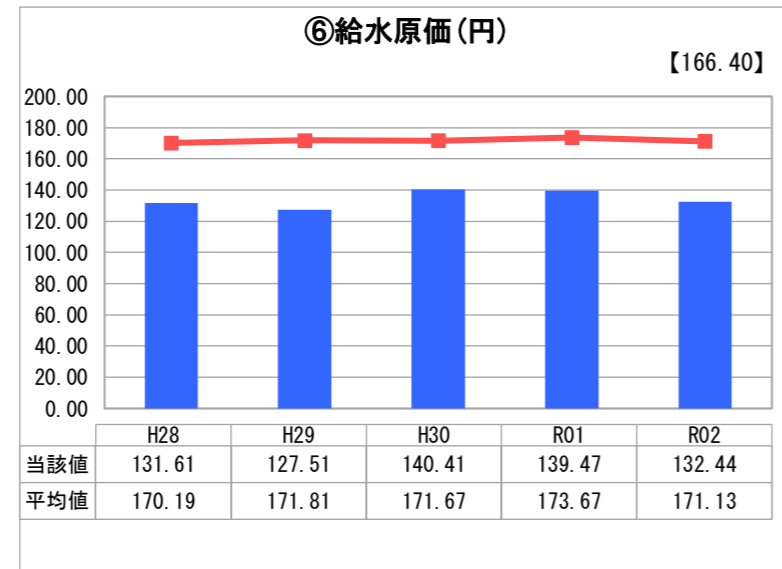
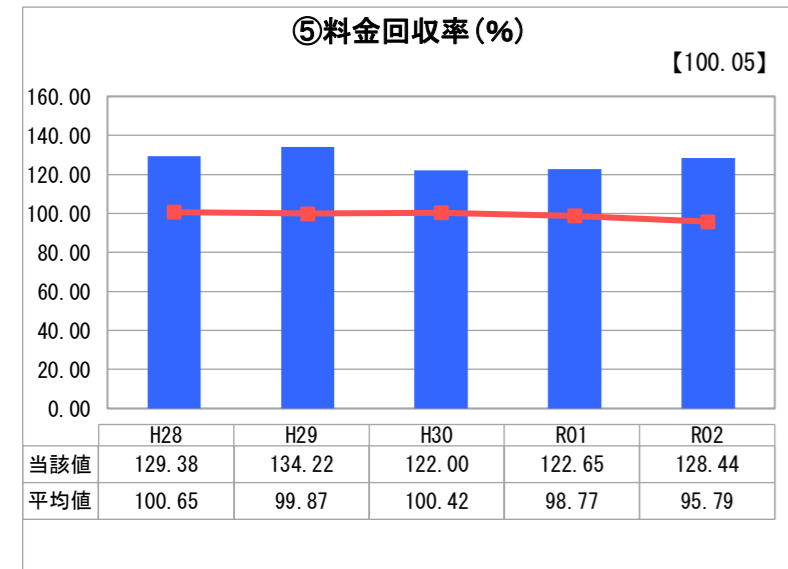
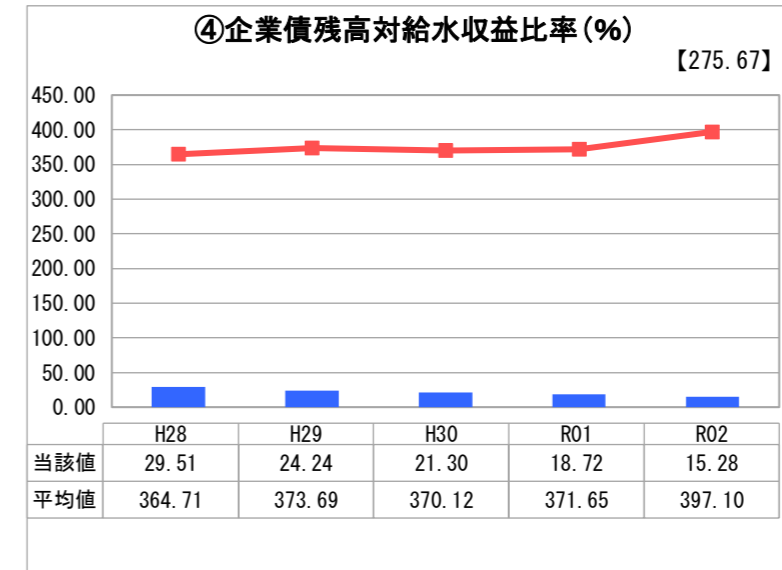
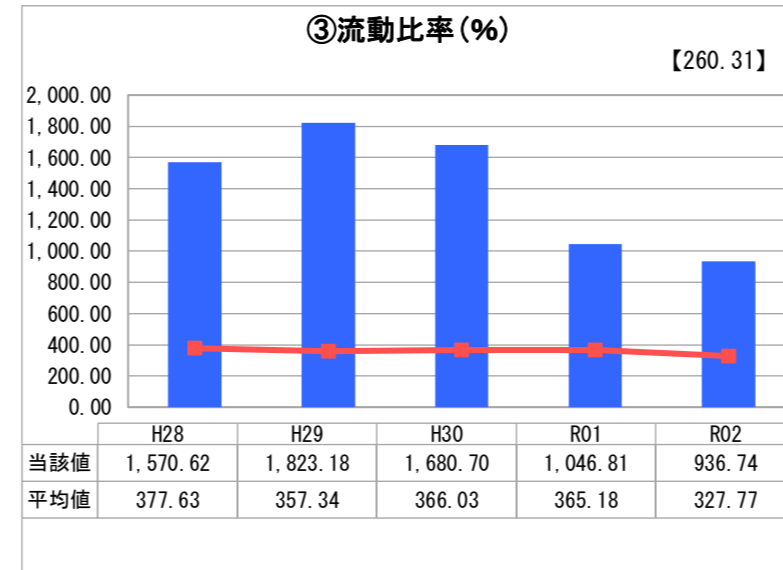
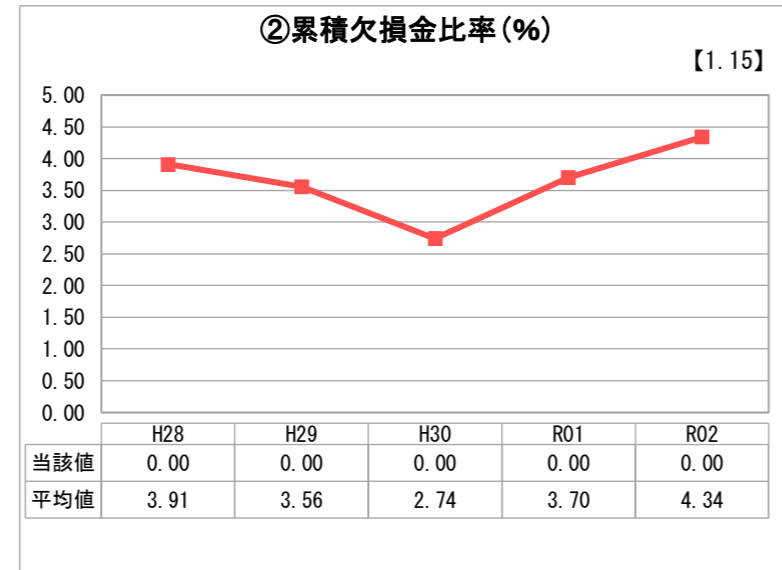
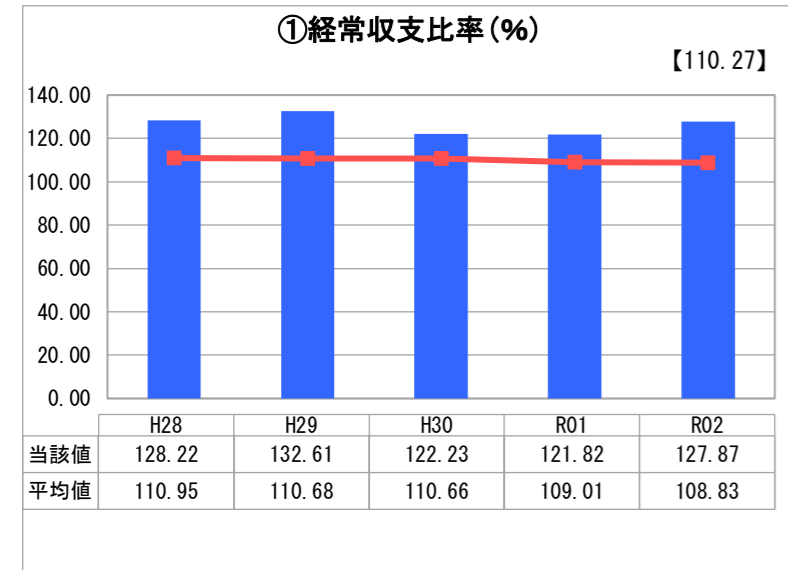
兵庫県 小野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	91.44	100.14	2,750	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,146	92.94	518.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,030	82.92	579.23

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

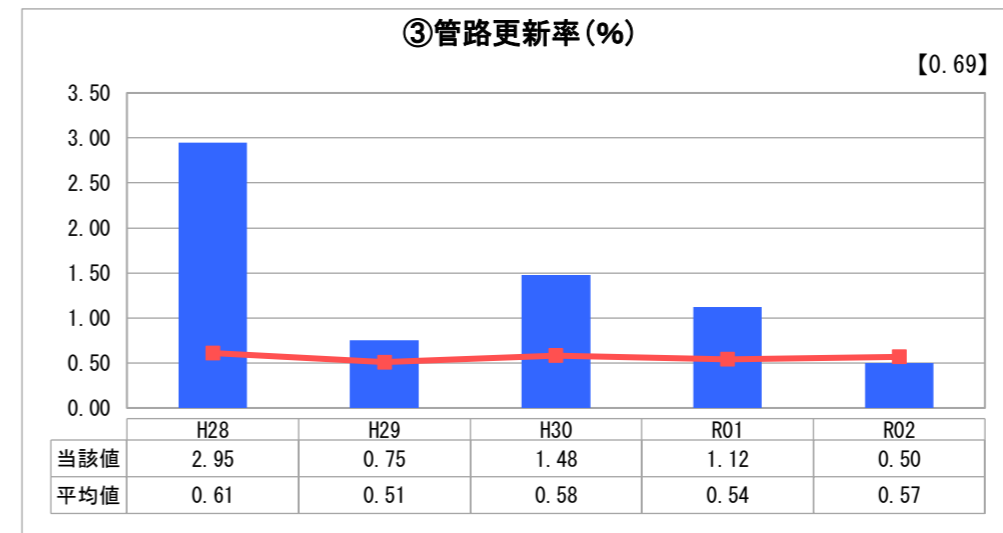
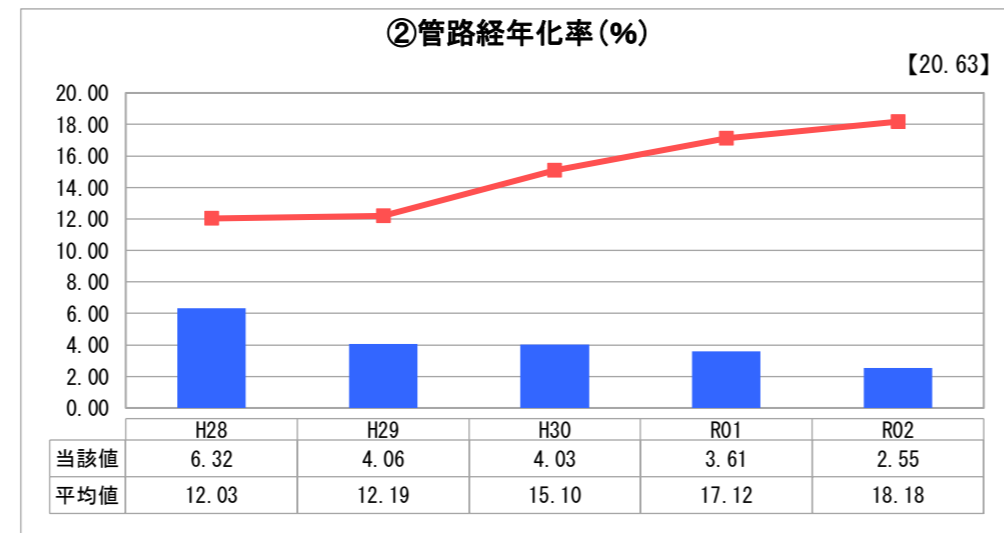
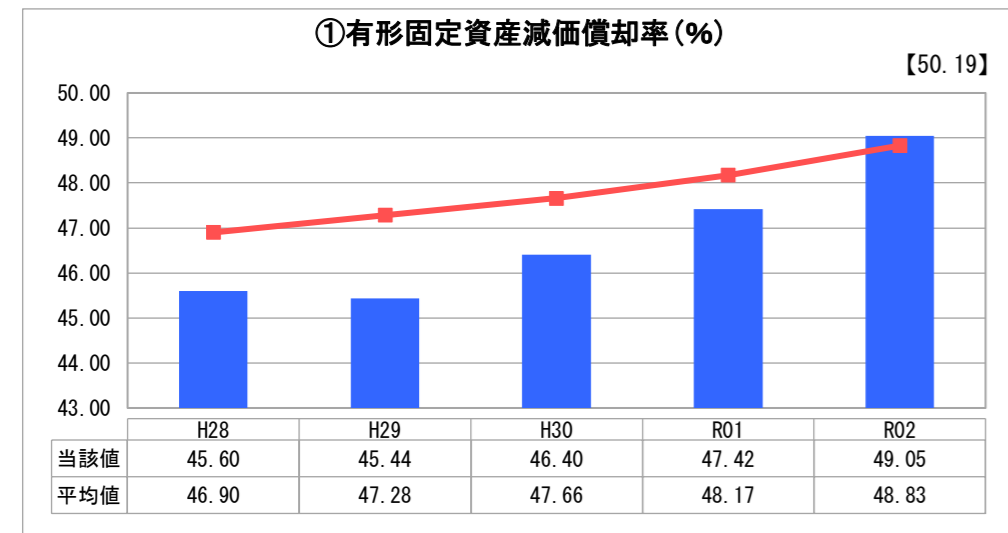
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
「経常収支比率」は100%を上回っており、類似団体と比較しても数値は高く、健全な経営状態にある。
- ② 累積欠損金比率  
数値はゼロ値が続いている。
- ③ 流動比率  
「流動比率」は100%を大きく上回り、1年以内(短期)の支払に対して十分な現金等を有している。
- ④ 企業債残高対給水収益比率  
平成15年度以降起債がないこと、過去に繰上げ償還を実施したことなどにより、企業債残高は減少し、類似団体と比較してもかなり良好な数値となっている。
- ⑤ 料金回収率、⑥ 給水原価  
類似団体平均値と比較して、「料金回収率」は上回り、「給水原価」は下回っているが、今後の施設更新費用の財源確保のため、現行の料金体制を維持する必要がある。
- ⑦ 施設利用率  
類似団体と比較して数値は高い。効率的な運営ができており、給水に支障はない。
- ⑧ 有収率  
継続して行っている漏水調査等により、「有収率」は類似団体と比較して高い水準で推移しているが、平成30年度以降微減傾向にあるため、漏水対策を強化し、老朽管の更新工事を計画的に進めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率  
償却対象資産の減価償却が進んでいるため、類似団体平均の動向と同様に、数値は年々上昇している。
- ② 管路経年化率  
類似団体と比較しても数値は低く、計画的な管路の更新を行っている。
- ③ 管路更新率  
管路の優先順位に基づいた更新を行っているため、管路更新率は年度間で差があるものの、令和2年度は類似団体とほぼ同じ数値となっている。引き続き、管路について計画的な更新を進めていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営の健全性・効率性に関して、本市の事業経営の状況は、類似団体と比較して良好で、施設、管路の更新も計画的に行われている。  
一部企業の給水量の増加はあるものの、節水機器の普及や人口減少に伴う給水収益の減少、配水池及び配水管等の改修工事等による経費の増加が見込まれ、厳しい財政運営が予測される。  
安全で安心な水を常に安定して届けることができる事業運営を行うため、経営戦略及び投資・財源計画に基づいた計画的な施設の更新、更なる経費の削減に取り組んでいく。  
また、アセットマネジメントを活用した施設規模の見直しや延命化などを行い、将来にわたって安定した水道事業の運営に取り組んでいく。